# 行政視察報告

福生市議会では、全国の市町村で高評価されている特色ある施策を今後のまちづくりの参考にするため、常任委員会等の視察を行っております。今年は、建設環境委員会、市民厚生委員会、総務文教委員会で先進地の視察を行いました。

## 建設環境委員会

視察目的　駅まちモール整備について

視察先　埼玉県江南市

視察日程　平成17年10月19日～20日

駅まちモールについては、行政の直接整備が、商店街への集客に結びつかなかった、これらを反省して官民一体となって、活性化を進めるため、商店街、駅前事業基本計画を策定した。この計画の中に核を活用した、町並み整備の方針が盛り込まれた。昔の白い壁の、町並木に沿って商店街をつくり、観光客や市民を、中心市街地へ回遊させる為、歩行者専用道路（愛まちモール）整備と併せ、市内の若手が中心となって、民間まちづくり会社「風船」を設立した。この風船は江南の顔であり、中心商店街が良くならなければ町おこしではない、と立ち上がったのが、風船の町おこしの始まりである。

▲埼玉県江南市の駅まちモール整備を視察

## 市民厚生委員会

視察目的　①健康づくりの推進について　②健康を支える保健指導について

視察先　大阪府堺市

視察日程　平成17年10月19日～20日

堺市は、府内で大阪市に次ぐ第二の都市である。○一一五七が最初に発症した市でもあり、現在は市民を巻き込んで健康づくりの活動に積極的に取り組み健康増進に成果を上げている。

現在、福生市でも「健康ふっさ21」の計画づくりに取り組んでおり、同市の施策を参考にして、市民の健康推進を図っていきたい。

▲大阪府堺市を視察

## 総務文教委員会

視察目的　防災対策について

視察先　兵庫県防災管理センター・人と防災未来センター

視察日程　平成17年10月11日～12日

今回の視察は、防災の視点で、一〇年前の阪神・淡路大震災の経験から最新の防災体制を敷いている兵庫県立災害対策センターと、震災の経験をあらゆる角度から検証して記録にとどめ後世に伝えていく目的で造られた「人と防災未来館」の視察を行いました。視察を通して今後福生市として取り組むべき課題を四項目にまとめてみました。

◇いつ起こるかわからない災害は、その場に残された人たちが相互に扶助し合いながら、持てる力を精一杯出し合っていくことが必要である。そのためには、行政は、市民がこの教訓を生かしていけるような施策を行うべきである。

◇民間住宅の耐震改修などを積極的に制度化すること。

◇主要幹線道路は緊急車両の通行を担保すること。

◇緊急時の職員対応のために初動体制確保の職員住宅創設が必要である。

▲兵庫県災害対策センターを視察

●訂正　前号のP2、4段目平成一七年度福生市下水道事業会計予算第一条中、「第四」を「第四」に。P3、平成一六年度会計決算概要の表中、介護保険特別会計の残額「1,016万9,109円」を「1,018万6,107円」に訂正します。

# 特別委員会活動から…

## 庁舎整備特別委員会

一二月二〇日に委員会を開催し、四項目の議題について協議を行いました。

まず一点目の実施設計については、一二月二二日縦覧の実施設計の最終内容の確認を行いました。

二点目の施設工事に向けての今後の予定については、庁舎建設のスケジュール表をもとに建設工事前後のスケジュールについての説明がありました。

三点目の現庁舎アスベスト調査の結果については、株式会社環境管理センターに調査を委託し、平成一七年一〇月一九日～二〇日にかけてサンプリングテストを行った結果、不検出であったとの説明がありました。

四点目の近隣説明会については、平成一七年一二月一六日、商工会館三階ホールで、市役所から半径二百メートル以内の住人を対象に、計画概要について、日照規制についてと、電波障害予測を内容とした説明会を行ったとの報告がありました。

## 横田基地周辺特別委員会

一二月一九日に委員会が開催され、思いやり予算がどのように使われているのか現状把握のため、横田基地内の施設等の視察を行いました。この視察については、委員外議員にも参加を募り、理事者も含め、総勢二九人の視察となりました。

その後、庁舎してから、五件の議題について審査を行いました。

まず、一点目の住宅防音工事対象区域指定の告示については、防衛施設庁で平成一五年度実施した航空機騒音の測定結果を踏まえ、住宅防音工事の見直しについて、このほど平成一七年一〇月二〇日に官報で告示されたとの説明がありました。

次に、二点目の横田基地内の演習結果については、一〇月から一二月にかけての横田基地内の演習の連絡内容とその対応、それからその調査の結果についての報告がありました。

次に三点目の航空機騒音については、一一月九日の深夜、エンジンテストによる騒音的な騒音があった。この原因としては、嘉手納基地所属のE－3Aにエンジントラブルが発生し、緊急出発できるようにするためのエンジンテストを実施したとのことで、豊田東京都、羽村、昭島、福生市で横田防衛施設事務所、横田基地に出向き、夜間のエンジンテスト中止の要請を行ったとの報告がありました。

次に四点目の在日米軍再編の経過報告については、今回の中間報告公表後の経過についての説明がありました。

五点目の防衛施設周辺財産の有効活用については、五月三〇日に東京防衛施設局施設部より横田飛行場周辺の国有地の有効活用について、横田飛行場の滑走路の延長線上にある緑地に公園的な施設を整備し、整備後市に無償貸与したいとの打診があったとの説明がありました。

▲横田基地内の航空機騒音を視察

## 編集後記

平成一七年一二月、臨定内のことではありましたが、議長を除く全議員（二一人）が一般質問を行いました。

一般質問は議員が理事者に行政の問題点を指摘したり、市民要望を取り上げたり、新たな提案をする、最大の活動の場であります。当然のことといえばそれまでですが、過去に全員が一般質問をした例はなく、ある種、快挙ではないかと思っております。

福生市議会は議員の発言をできる限り自由にし、制限を設けないようにしております。

そうはいってもどこかに基準がないと議論がありませんので、質問の回数を原則三回までとし、時間の制限は設けておりません。今までは一般質問に二日半程度を当てておりましたが、質問者が多くなるにつれ、時間的に窮屈になり、形化しにくくなりましたので、三月議会からは一般質問だけで三日間設けることにいたしました。

これで「早めに切り上げろ！」などの「やじ」もなくなり、ゆったりと質問ができ、より成果が上がるものと期待をしております。